



2017年12月期 第2四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2017年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役 社長執行役員 （氏名） 高原 豪久

問合せ先責任者 （役職名） 常務執行役員 経理財務本部長 （氏名） 岩田 淳 TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 未定

配当支払開始予定日 2017年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2017年12月期第2四半期の連結業績（2017年1月1日～2017年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年12月期第2四半期	301,980	1.5	38,429	24.7	27,623	27.3	25,198	28.0	26,302	—
2016年12月期第2四半期	297,429	—	30,819	—	21,705	—	19,682	—	△25,579	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2017年12月期第2四半期	42.80	41.48
2016年12月期第2四半期	33.04	32.03

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2017年12月期第2四半期	672,327	419,910	358,426	53.3
2016年12月期	668,592	414,387	352,098	52.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2017年12月期	—	9.00	—	—	—
2017年12月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2017年12月期の連結業績予想（2017年1月1日～2017年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		コア営業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	4.2	84,000	6.2	77,000	1.5	49,000	4.3	83.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2017年12月期2Q	620,834,319株	2016年12月期	620,834,319株
② 期末自己株式数	2017年12月期2Q	35,097,830株	2016年12月期	29,982,790株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2017年12月期2Q	588,681,583株	2016年12月期2Q	595,784,366株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、2017年12月期の第1四半期連結累計期間から国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。また、前年同四半期及び前連結会計年度の連結財務諸表につきましても、IFRSに準拠して表示しております。連結財務数値に係るIFRSと日本基準との差異につきましては、添付資料14ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 4. 初度適用」をご参照ください。
- (2) 当社が公表する業績予想のコア営業利益はIFRSで定義されている指標ではありませんが、当社の経常的な事業業績を測る指標として有益な情報であると考えられるため、開示しております。
- (3) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (4) 当社は、本日付「過年度決算に関する調査のお知らせ」に記載のとおり、2016年12月期以前の過年度における会計処理の適正性について調査を行っておりますが、現時点におきましては、当四半期決算には重要な影響はないものと判断しております。ただし、この四半期決算短信に記載されている前連結会計年度（2016年12月期）及び前第2四半期連結累計期間（2016年1月1日～2016年6月30日）に係る数値については、訂正の要否は現時点では不明であり、調査の進展次第では、訂正がなされる可能性があり、その場合の影響は不明であります。この四半期決算短信におきましては、便宜的に、これらの数値は過去に公表済の数値を記載しており、当該数値との比較情報を記載しておりますが、上記の状況にあるため、これらの情報は投資判断の基礎とはされないようお願いいたします。